

10. 農林水産業の革新的技術緊急展開事業 (海産魚類養殖における生産コスト削減をめざした 低・無魚粉 EP 飼料の開発)

松倉一樹

本プロジェクトは、国立研究開発法人水産総合研究センター中央水産研究所を中核機関として、東北大学、東京海洋大学、三重県水産研究所、愛媛県農林水産研究所、五島漁業協同組合が参画し、主要な養殖魚種であるマダイについて、三重県、愛媛県、長崎県内の養殖漁場における低魚粉飼料の実証試験に取り組んだ。併せて、試作されたマダイ用低・無魚粉飼料について、吸収性の確認、摂餌性の向上、マダイの品質向上、抗病性の確認、季節に応じた適切な使用方法等を小規模な実験により検討した。総合水産試験場では、低・無魚粉飼料で飼育したマダイについて抗病性の確認、および抗病性向上に向けた検討を細菌攻撃試験により行った。

また、無魚粉飼料実用化の将来的な可能性を検討するために、小割生簀を用いた飼育試験による飼育コストの試算等を行った。

これらの取組を各機関で分担して行うことにより、実用的な低・無魚粉飼料の早期開発を目指した結果、3ヶ所全ての実証試験で今回用いた低魚粉飼料によるコスト削減効果が実証された。

今後はこの成果をもとに、県内養殖業者における低魚粉飼料の普及が期待される。

本課題は、農林水産省「農林水産業の革新的技術緊急展開事業」によって行われた。

(担当：松倉)